

周囲がほんとに愛にのみ充たされてゐるならば、薔薇でも霸王樹でも棘をなくして了ふだらう。然しその周囲が飽くまで不親切であり、これに迫害を加へる時は、彼等は決して棘を取らないであらう。然しながら吾々はかうした境遇の中にあつて、内なる信仰と人格とを表現して、外なる物質を支配することを常に心にとめなければならぬ。

日本の文化は古人の残してくれた残パンであるかも知れない。吾はたゞその残パンを受けつぐならば迷惑を感じるのみである。その残パンを消化して十分に活かしきる意気が必要である。尾籠な話ではあるが、かの糞虫は、自分の食つた土を一つの穴へ持つて行く。するとその糞はセメントの如くなつて穴の周壁に塗りかためられる。かうして出来た穴には水などの入る心配はない。糞虫は安心してその穴に卵を産みつけることができるのである。吾々の表現の道は多様であるけれども、然し吾々は自分の境遇を支配して、物的力に圧倒されず、そこに新しい創造的な精神生活の頂点を、常に把持してゐたいものである。

建築は一つの言葉である

(一)

私が東京に来て最も不愉快に感ずることは、震災救護事務局の人がバラックを建てる際に、細民住宅に関する心理を全く無視したと云ふことである。

今日のバラックは、昔のトンネル長屋以上である。昨夜（大正十二年十一月二十二日）も私は新宿御苑のバラックを見て廻つた。そして驚いて了つた。それは、間口九間奥行三十間もあらうと思はれる倉庫式のものであつて、中央にトンネル式の道路があり、その両側に四間幅の床が張られてあつた。然し、そこは一家族が占領するにはあまり広過ぎると云ふ理由で、中途で区切つて二家族が這入つて居るのであつた。その区切も、板であるものは少なく、多くは三尺位の幕とか、布片で作つてあつた。通風が悪いので、臭気が鼻をつくと云ふ有様である。あれでは、もと本所あたりにあつたトンネル長屋よりも遥かに粗悪なものである。

御苑の中に、よくもこの種類のものが建てられたものだと私自身驚いて了つたことであつたが、万事がこの流儀である。

私は復興院に於ける細民住宅の設計に就て如何なる事が進行してゐるか知らない。噂に聞けば、池田計画課長は細民住宅として六畳一間は広過ぎると云はれたとかであるが、私としては、池田氏が細民心理を知らないことを尤もだとは思ふが、そのあまりに思ひやりの少ないのに驚いて居るのである。

私は細民窟に数十年住んで見た経験上、建築家が材料とその与へられた条件にあまりに縛られて、その中に住む人間に対する心理的反影を考へて呉れないことを悲しく思ふ。

(二)

建築は一つの言葉である。

粗悪なる良心の持主はその建築を通して粗悪なる言葉を物語る。

或建築物は全くゴロツキである。或建築物はスリである。或建築物は泥棒である。或建築物は詐偽師である。

その建築物を長く聞いて居ると共に、漸次人間の眞実性を吸ひ取られて了つて、恰も悪友に感化せられた不良少年の如く、年月の経つ程に、純眞なる人間が、悪化させられて了ふのである。それはそれを作つた建築家に親切と、眞実性がなく、胡魔化し半分にてたものであるからである。

私は大震災後に建てられたバラックに必しも永久性の建築を發見したいとは思はぬ。然し仮りに、三ヶ月、四ヶ月しか道入らぬものにしても、もう少し親切な建てかたがありそうに思へる。日比谷のバッセーヂ・バザアを建てた遠藤氏のバラックなどは、私の見たもの、中で最も親切なものである。遠藤氏は、本所区柳島梅森町の貧民窟の眞中に、矢張り美しい鈍角直線のバラックを貧育院の爲めに建てた。その工費の安いこと、その輪廓の美しいこと、私は遠藤氏のバラックに接して、宇治の平等院の建築物に接したやうな感じがした。貧育院の乳児室の窓に立つて、産室の屋根を見ると、軒の張板の外は屋根が何処にあるか見え無い。本所の貧民窟に住んでゐながら、屋根を見ないで、天とそれを飾る雲をのみ眺め得ると云ふ親切な建て方である。

私はそれを見て、自分が、大阪の組立バラックをもらつて考へないで建てたことを恥しく思つた。

自分が建てゝ居て不愉快である組立バラックは、何物かを欠いてゐるのだとは思つたが、遠藤氏のやうな大胆な態度を欠いて居るのであると云ふことに、自分は教へられ且つ啓発せられたことであつ

た。

貧民住宅で見る最も悲しいことは、芸術的建築家が儲けにならないと云ふ理由によつて請負師に打託せて了ふことである。それで請負師は金を本位にして魂のある人間を住ます爲めでは無く、機械人形を入れておく爲めに奇妙な家を建てるのである。

(三)

私は、貧民住宅を作る時に三重の注文をする。その第一は坪数に對する人々の比例があまり過剰にならないやうにすること、第二は長屋として群衆心理の低下意識が働かないやうに長屋をあまり一塊にしないこと、第三は市街地の一区域として貧民窟を作らしめないことである。

日本では、大阪が最もこの方面に注意して居る爲めに、大阪には所謂貧民窟と云ふものは無い。大阪の貧民窟は人に頭は見え無いやうになつて居る。大阪は同居人の多い二階建が多いが、東京の日暮里や三河島で見ると千軒長屋の貧民窟などと云ふものは見当ら無い。

人間は困つた時には随分無理をするものであるから、あまりに無理をしないやうに生存権だけは社会的に保証するのが善いのである。

その爲めには、どうしても、建築条例の優れたものによつて、細民住宅の悪化を防ぐ必要があると思ふ。木で家を建てると思つた時代は既に過ぎ去つた。今は心の建築をすべき時代である。私は、細民だからと云つて、魂抜きの建築物を与へることは大きな誤

りであると考え。私は優れて善良な建築が細民に与へられるやうに祈りたい。それでなければ、たゞさへ低下意識の働かんとする細民住宅に手もつけられぬ困難な状態が次から次へと起つてくると思ふ。

私は帝都が復興しても貧民窟だけは復興したくない。細民に美しい芸術を与へよ、彼等が貧しければ貧しい程、より多くの純真なる芸術を要求する。私はバラックの中に住む多くの人々のために、細民住宅がただ所謂雨露を凌ぐに足ると云ふ程度のものでは無くして心理的に建てらるゝことを望むものである。

結髪と曲線美

結髪の流行とその心理的基礎

日本の結髪が、最近著しく変化して来たことは何人も気の付くことであるが、多くの人達はその流行の心理的基礎について考へることが少ないやうである。由來、美の推移は多く本能的に來るものであつて、意識される部分が極く僅かであるから、自然それに対する考察を怠り勝ちになる。然しそこには深い美に対する憧憬と美的法則に対する忠実なる厳守とがあるのである。

結髪は眼の運動を基礎とする美が中心となつて、眼に美しく見える曲線が頭部の裝飾として組み合はされるのである。それで視覚的美の内容の進化とともに結髪の推移のあることは亦己むを得ない。

それと共に人体の運動も亦結髪の上に多大なる影響を及ぼす。結髪の曲線を見れば大抵その時代に於ける人体の運動の模様がわかる。人体の運動の性質が結髪に作用するのみならず、その時代の思想が著しく結髪に作用するものである。

復活された古代の希臘の結髪

結髪に関する流行は近代に於て著しく眼につくが、古代希臘などに於ても非常に進歩したものであつて、古代希臘の彫刻陶器に描かれた絵画等を見ると、時代によつて著しく結髪の変化してゐることに気がつく。古代希臘とのみ思へば、羅馬時代に於てもいろ／＼と苦心した模様である、猶驚くのは、古代埃及の絵画彫刻を見てもみると、今から五千年前に既に結髪に流行のあつたことを我々は知る。さういふやうな事実を我々がパピロン及アツシリアの古代生活にも発見するのである。さうした時代には結髪の如き複雑な美的行動はとれないだらうと思はるゝに拘らず、当時の有閑階級の間には既に一定の結髪の型があつて、随分手をこめた結髪をしたやうである。勿論庶民階級の間にはさうした複雑な結髪が出來ないやうであつたけれども、彼等も暇がありさへすれば、有閑階級の模倣をしたやうである。

一般に古代希臘の結髪はその儘近代に於て復活されて居る。古代希臘の結髪で近代に復活されてゐないものは一つもない。古代埃及の結髪も部分的に復活されつゝある。断髪の如き、又極端に髪を編んで頭に巻きつける風習の如きは、近代に於ても復活されて居る。